



1. 米穀情報誌「my米通信」について
2. 水稲生育状況（7月1日現在）
3. 鉄コーティング直播栽培技術の紹介について

## 1. 米穀情報誌「my米通信」について

米穀情報誌「my米通信」とは、全農をはじめ、生産者・JA・量販店が関わっているお米についてそれぞれの立場で「私の米」だと自信を持って携わっていきけるよう米に関わる情報について生産現場（生産技術や水稲の生育状況）から流通（米の品質検査や今年のトレンドなど）まで幅広い分野にわたって米穀情報を発信していく情報誌です。

今後、生産者・JA・量販店に情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします。

## 2. 水稲生育状況（7月1日現在）

### 【生育状況】

県内全域を通して水稲が徒長気味であると報告されています。また、北部では、4・5月に気温が上がらなかったことがあり、生育が遅れていましたが、6月以降気温が上昇し、生育は平年並みとなりました。しかし、朝・昼の温度差が大きいため注意が必要です。

### 【病害虫・雑草情報】

南部の一部地域でドロオイムシが多くみられるそうです。北部ではまだ確認されていないので発生に備えてください。

いもち病の注意報も出ています。北部ではまだあまり確認されていないようですが、対策の準備をよろしくお願いいたします。

表1 生育ステージ

	南部	北部
早生	分けつ期～ 最高分けつ期	最高分けつ期
中生	分けつ期	分けつ期

表2 生育状況と遅速

		南部	北部
早生	生育状況	平年並	平年並
	生育遅速	平年並	平年並
中生	生育状況	平年並	平年並
	生育遅速	平年並	平年並

表3 6月の天気について（気温・降水量・日照時間）

		気温	降水量	日照時間
	上旬	かなり高い	多い	かなり少ない
	中旬	低い	少ない	多い
	下旬	平年並み	少ない	多い

		気温	降水量	日照時間
北部	上旬	かなり高い	多い	かなり少ない
	中旬	低い	平年並み	平年並み
	下旬	平年並み	少ない	多い

### 3. 鉄コーティング直播栽培技術の紹介について

米の価格が低下している昨今において稲作にかかるコストを下げることは急務であり、大変重要な課題となっています。

そこで、このたびJA全農ひろしまでは、稲作においてコスト・労働時間の多くを占める育苗を省略できる鉄コーティング直播栽培技術に注目し、米穀総合課をはじめ、肥料農薬・農機部門が意見を出し合い、現在、課題解決・現地普及に向けた栽培試験を行っています。

今回は、この技術の特徴や取り組み内容についてご紹介いたします。

#### 1. 鉄コーティングとは

鉄コーティング直播とは、種籾を鉄粉等でコーティングし、水田に直接播種し、栽培を行う技術です。鉄粉でコーティングすることにより、水や風に流されることなく、栽培を行うことができます。

#### 2. 鉄コーティング直播のメリット・デメリット

##### (1) メリット

- ア. 育苗にかかるコスト、労力を省くことができる。
- イ. 農閑期にコーティング作業を行うことができ、年間を通して作業分散を行える。
- ウ. 色、硬度から鳥獣被害を軽減することができる。

##### (2) デメリット

- ア. 圃場環境（水が長く残る滞水部がある）により苗立率が低下する。  
対策：滞水部を作らないよう圃場を均平に整備する。
- イ. 圃場の水を抜くことによって雑草が茂る。  
対策：初期除草剤、一発除草剤を適期に活用する。

#### 3. 取り組み箇所

県内5箇所で行っています。



#### 4. 鉄コーティング直播栽培に関する Q&A

Q1. 慣行（移植）栽培と比べてどのくらいコストが削減できますか？

A1. 育苗間では、移植栽培に比べて約9%（約8,500円/10a）程度削減できるといわれています。（ヤンマー調べ）。

省力化・農繁期の作業分散による人件費削減については今後、継続的に調査を行う中で算出し、公表する予定です。

Q2. 鉄コーティング直播栽培で注意することは？

A2. 苗立ちまでの水管理、雑草・病害虫対策がポイントとなります。

Q3. 直播でできたお米は慣行（移植）米と比べてどうですか？

A3. 水管理をきちんとすることで慣行米と味は変わりません。

## 5. 写真で見る鉄コーティング直播栽培

### (1) 鉄コーティング種子の作り方



### (2) 播種から1か月間

#### ア. 鉄コーティング直播の場合



イ. 水稻移植の場合（写真出典：職業：農業、新潟県弥彦村 石井農園ブログ）



## 6. まとめ

現在、鉄コーティング直播栽培技術についてRCC（5月9日）やFM東広島（6月17日）などメディアでも取り上げられています。

JA全農ひろしまは、この栽培技術の確立を目指して試験・推進を行い、水稻にかかるコスト削減による生産者の利益最大化を目指していきたいと考えています。

【米穀総合課 守分】

総合お問い合わせ先 JA全農ひろしま米穀部 米穀総合課 082-431-5450